

事務事業コード	761170	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路維持第1グループ
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2761
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 年度
	款	8	土木費		
	項	2	道路橋梁費	根拠法令・条例等	道路法 第42条第1項
	目	1	道路橋梁維持費		
コード	761170				
関連計画	霧島市橋梁長寿命化修繕計画				

1. 現状把握 (1) 事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
<p>高度経済成長期に架設された大量の橋梁が、一斉に老朽化し橋の寿命が近づきつつあることにより事業を開始した。</p> <p>長寿命化修繕計画に基づく計画的かつ予防的管理を行い、橋梁の長寿命化を図る。その結果、橋梁が一斉的に劣化・損傷することが回避でき、安心安全な交通の確保と橋梁に係る長期的な費用の縮減を図る。</p> <p>全橋の概略点検実施→詳細点検→長寿命化計画書作成→長寿命化計画に沿って事業(補修工事)申請→事業(補修工事)実施→完了</p>	特になし	<p>平成19年度第3回(9月)定例会市議会において市議より、橋梁の点検管理に係る一般質問が行われるなど、市民の関心が高まっている。</p> <p>質問内容は、15m以上の道路橋の数や耐用年数、点検・管理状況に関するものであった。</p>

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 市民	計画的で予防的な管理を行うことにより、橋梁を長寿命化する。	安全・快適に移動ができる。
イ 霧島市が管理する道路橋梁		

全体計画 (H21 ~ )	平成23年度までの実施状況	平成24年度実績	平成25年度計画
	長寿命化修繕計画の策定:計画の目的、対象橋梁、現状把握及び維持管理補修方針、点検計画、修繕、事業効果を計画策定した。	橋梁修繕工事及び剥落防止対策工事を行った。	橋梁修繕工事を行う。
平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度計画	平成29年度以降計画
橋梁修繕工事を行う。	橋梁修繕工事及び定期点検を行う。	橋梁修繕工事を行う。	橋梁修繕工事を行う。

(2) 事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H21 ~ )			
	単独	補助	合計
国		388,569	388,569
県			
地方債			
辺地債			
過疎債			
合併特例債			
その他		22,467	22,467
一般財源		317,953	317,953
計		728,989	728,989

	H 24年度 決算 (A)	H 25年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	61,150	70,000	8,850	14% 増
補正予算額	67,260		---	---
予算合計	128,410	70,000	▲ 58,410	45% 減
国庫補助金	13,459	38,500	25,041	186% 増
県支出金				
地方債				
その他	22,467		▲ 22,467	100% 減
一般財源	14,995	31,500	16,505	110% 増
支出合計	50,921	70,000	19,079	37% 増

単位:千円

事務事業コード	761170	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

区分	全体計画 ( H 21 ~ )			平成23年度までの 実施状況			平成24年度 (実績)			平成25年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量				長寿命化修繕計画の策定:計画の目的、対象橋梁、現状把握及び維持管理補修方針、点検計画、修繕、事業効果を計画策定した。			橋梁修繕工事及び剥落防止対策工事を行った。			橋梁修繕工事を行う。			
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費													
消耗品費													
燃料費													
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料		275,574	275,574		48,068	48,068		29,706	29,706		17,800	17,800	
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費		453,415	453,415					21,215	21,215		52,200	52,200	
16 原材料費													
17 公有財産購入費													
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金													
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金													
23 償還金利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計		728,989	728,989		48,068	48,068		50,921	50,921		70,000	70,000	
財源内訳	国	388,569	388,569		28,610	28,610		13,459	13,459		38,500	38,500	
	県												
	地方債												
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債												
	その他	22,467	22,467					22,467	22,467				
	一般財源	317,953	317,953		19,458	19,458		14,995	14,995		31,500	31,500	
計	728,989	728,989		48,068	48,068		50,921	50,921		70,000	70,000		
補助率	国	—		—		0.55		0.55		—		—	
	県	—		—		—		—		—		—	
補助基本額	—		—		—		—		—		—		

平成24年度予算の状況

当初予算	61,150
補正予算	67,260
合計	128,410

<補正予算内訳>

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	67,260
第3回		第6回			

単位:千円

単位:千円

事務事業コード	761170	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

区分	平成26年度 (計画)			平成27年度 (計画)			平成28年度 (計画)			平成29年度以降 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量	橋梁修繕工事を行う。			橋梁修繕工事及び定期点検を行う。			橋梁修繕工事を行う。			橋梁修繕工事を行う。		
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金												
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費												
消耗品費												
燃料費												
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費												
通信運搬費												
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料		40,000	40,000		60,000	60,000		40,000	40,000		40,000	40,000
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費		100,000	100,000		80,000	80,000		100,000	100,000		100,000	100,000
16 原材料費												
17 公有財産購入費												
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金												
23 償還金利子・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計		140,000	140,000		140,000	140,000		140,000	140,000		140,000	140,000
財源内訳	国		77,000	77,000		77,000	77,000		77,000	77,000		77,000
	県											
	地方債											
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債											
	その他											
	一般財源		63,000	63,000		63,000	63,000		63,000	63,000		63,000
計		140,000	140,000		140,000	140,000		140,000	140,000		140,000	140,000
補助率	国	0.55		0.55		0.55		0.55		0.55		
	県											
補助基本額												

事務事業コード	761170	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	橋梁の劣化・損傷を計画的に補修することで、安心安全で快適に移動ができることにつながる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道に架かる橋梁の管理は、管理者である市の責務であるので市が行うことが妥当である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	計画年度とおりに進捗している。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	橋梁長寿命化修繕を廃止・休止することは、橋梁の老朽化が進み膨大な修繕料が必要となり、また、通行の安全が図れなくなる。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	調査に基づいて、コスト削減を図り補修計画をたてて実施することから削減余地はない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	専門性の高い調査や補修計画は委託業務を行い、事業遂行は正規職員で行っているため削減余地はない。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道橋は、不特定の市民が利用することから受益者は特定できない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕工事を実施し、止上橋が健全化された。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	橋梁長寿命化修繕計画に基づき実施するが、計画の遅れが出ないように橋梁の健全化に努める。

事務事業コード	761710	事務事業名	市道・橋梁台帳整備事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路管理グループ
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2765、2766
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	8	土木費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	1	土木管理費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	1	土木総務費	根拠法令・条例等	道路法、道路法施行規則
	コード	761710			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績				
市道の管理を行うために、市が管理する道路(市道)や橋梁の台帳(図面)を整備する。手順としては、市道や橋梁の認定・廃止・変更を行い、その後、台帳の補正を行う。台帳を整備することにより、市有地と民地の境界が明確になり、市道の全体像を把握し、機能確保を図れる。			平成23年度に市道整備した路線の補正を行い道路台帳・台帳図に反映した。また、路線の区域変更等を告示した。(新規路線の議会承認は無し)				
			平成25年度計画				
		平成24年度に市道台帳の再編を完了した道路等の台帳整備。道路改良等に伴い完成した道路等の台帳整備。					
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	認定・変更・廃止路線数	本	2,432	39	15	15	
イ							
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	市道(認定・認定外)	市道延長	Km	1,630	1,630	1,630	1,630
イ	橋梁	橋梁数	橋	648	652	652	652
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	市道・橋梁の情報が管理できる	霧島市道路台帳再編計画達成度	%	100	100	100	100
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	安全・快適に移動ができる	改良率	%	56.30		***	***
イ	安全・快適に移動ができる	渋滞箇所数	箇所	9	9	***	***

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)	
予算額	当初予算額	14,500	18,740
	補正予算額	0	
	予算合計	14,500	18,740
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	13,115	
	支出合計	13,115	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
市町合併により霧島市としての台帳整備が必要になり、平成17年度より開始している。	特になし
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
特になし	特になし

事務事業 コード	761710	事務 事業名	市道・橋梁台帳整備事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

単位:千円		平成24年度 (決算)			平成25年度 (当初予算)			平成26年度 (見込)		
		単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬									
2	給料									
3	職員手当等									
4	共済費									
7	賃金									
8	報償費									
9	旅費									
10	交際費									
11	需用費									
	消耗品費									
	燃料費									
	食料費									
	印刷製本費									
	光熱水費									
	修繕料									
12	役員費									
	通信運搬費									
	広告料									
	手数料									
	保険料									
13	委託料	13,115		13,115	18,740		18,740	18,740		18,740
14	使用料及び賃借料									
15	工事請負費									
16	原材料費									
17	公有財産購入費									
18	備品購入費									
19	負担金補助・交付金									
20	扶助費									
21	貸付金									
22	補償補填及び賠償金									
23	償還金・利息・割引料									
24	投資及び出資金									
25	積立金									
26	寄附金									
27	公課費									
28	繰出金									
計		13,115		13,115	18,740		18,740	18,740		18,740

財源内訳	国									
	県									
	地方債									
	辺地債									
	過疎債									
	合併特例債									
	その他									
一般財源	13,115		13,115	18,740		18,740	18,740		18,740	
計	13,115		13,115	18,740		18,740	18,740		18,740	

補助率	国	—	—	—
	県	—	—	—
補助基本額				

平成 24 年度	当初予算	14,500 千円		
	補正予算			
	第1回		第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計		14,500 千円		

平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	761710	事務事業名	市道・橋梁台帳整備事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	台帳を整備することにより、市有地と民地の境界が明確になり、市道の全体像を把握し、機能確保を図れることから、しいては、安全で快適な移動ができることになる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道という「市の財産」の全体像を管理することは、道路管理者の責務である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市道・橋梁の情報を管理するためのものであり、対象・意図とも妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	台帳再編については順調に進んでおり、平成22年度には100%整備できた。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	新規・改良路線の詳細が把握できず、財産の管理・機能確保ができなくなる上に、地方交付税の算定基礎数値の変更ができない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	法にある「要素仕様」であり削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	台帳の基礎部分は、市職員が作成しているが、必要最小限の事務であり、削減の余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の機能確保の為に基礎資料の台帳を整備することなので、偏りはなく、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 市道の整備・改良等を完了した道路等を調査測量し台帳に反映させることができた。

### 3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

#### (3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
市道の整備・改良等を完了した道路等を台帳に反映させることにより市有財産の管理用資料の作成及び地方交付税等の資料として利用できる。	道路改良等に伴い完成した道路等の台帳整備

事務事業コード	761110	事務事業名	地方改善施設整備事業	担当部	建設部
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		担当課	建設施設管理課
施策名	2	交通体系の充実		グループ	道路維持グループ
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		電話番号	45-5111
予算科目	会計	一般会計		内線番号	2761
款	8	土木費	項	2	道路橋梁費
			目	1	道路橋梁維持費
				コード	761110

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

③対象 (誰、何を対象しているのか)	④意図 (対象をどうしたいのか)	⑤結果 (どんな結果に結びつけるのか)
市民市道	狭小道路が改修され移動がしやすくなる。	安全・快適に移動ができる。

番号	路線名等	平成24年度		平成25年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	高日山線	継続	用地・補償費			H 25	
		国分	3,920				
2	高日山線	継続	工事費前金払用地・補償費	継続	工事L=92m	H 25	内H24→H25繰越9,000
		国分	12,899	国分			
3	唐仁町～有下線	新規	測量委託	新規	工事L=80m調査・補償費	H 26	
		国分	1,995	国分	26,300		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

<地区別> 継続 = 2 新規 = 1 継続 = 1 新規 = 1

		H 24	H 25	<全体事業費>	平成24年度決算(A)	平成25年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国分		3	2	事業費	18,814	26,300	7,486
溝辺				事務費	234	530	296
横川				合計	3路線 19,048	2路線 26,830	▲ 1 路線 7,782
牧園				<財源内訳>			
霧島					平成24年度決算(A)	平成25年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
隼人				国庫補助金	9,524	13,413	3,889
福山				県支出金			0
				地方債			0
				その他			0
				一般財源	9,524	13,417	3,893
				合計	19,048	26,830	7,782

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 地区自治公民館から、まちづくり計画書による要望がある。	② この事務事業に対する議会から出された意見 救急車輛の通れない狭小道路の改善について議会に質問がでている。
--	---



事務事業 コード	761110	事務 事業名	地方改善施設整備事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	集落道路である狭小道路の改修により、市民が安全・快適に移動ができることにつながる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道(集落道路)の改修は、管理者である市の事務であるので市が行うことが妥当である。
B 有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	集落道路の改修を廃止・休止することで、市民の安全・快適な通行が図れなくなる。
C 効率性評価	④ 事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	改修の工法については、コスト削減を考慮して決定することから削減余地はない。
	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	高度な測量設計は委託業務を行い、事業遂行を正規職員で行っているため削減余地はない。
D 公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道は、不特定の市民が利用することから受益者は特定できない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	用地交渉の不調等の理由により事業の変更が生じた。事業内容を変更することが少なくなるように、迅速に対応し、狭小道路の改善に努めたい。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	生活道路の改築、排水施設の改修など、まちづくり計画等により市民からの要望が、近年、増加の傾向にある。そこで、緊急性や優先順位を考慮し事業計画をたて推進を図る必要がある。また、実施においては先行して用地交渉等を進め事業の迅速化を図る。

事務事業コード	761171	事務事業名	道路アダプト制度事業	担当部	建設部
政策名	1	快速で魅力あるまちづくり		担当課	建設施設管理課
施策名	2	交通体系の充実		グループ	道路維持第1グループ
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		電話番号	45-5111
				内線番号	2761
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	8	土木費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 24 年度~)
	項	2	道理橋梁費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	1	道路橋梁維持費	根拠法令・条例等	特になし
	コード	761171			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績			
道路アダプト制度実施要綱により、市民団体・事業者団体などを募集し、応募した団体が霧島市内の市道及び国県道の主要幹線道路で延長400m以上の道路敷地を、(1)年2回以上の道路の草払い(2)道路の清掃(ポイ捨てゴミ等の収集・処分)(3)道路の破損等の情報提供の活動を行う。活動の支援として、霧島市は、活動支援費として取扱い要領の規定に応じて補助金の支援を行う。また、アダプトの道路区域には、アダプトサイン(看板)を設置する。これにより道路の環境及び機能の維持向上を図る。			アダプト制度登録団体の登録と、それに伴う草払い・清掃等の実施			
			平成25年度計画			
			アダプト制度登録団体の登録の推進と、それに伴う草払い・清掃等の路線の増加を図る			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	道路アダプト制度の実施により、参加団体を募って、道路の草払い、清掃等を実施する	団体		25	39	53
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	市民団体及び事業者団体	団体		100	100	100
イ	霧島市内の市道・国県道の主要幹線道路	Km		90.2	90.2	90.2
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	アダプト制度登録団体数を増やす	団体		25	39	53
イ	アダプトによる道路の草払い延長	Km		26.5	40.5	54.5
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	安全・快適に移動ができる	%	56.3		***	***
イ		箇所		9	9	***
ウ						***

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
予算額		
当初予算額	921	1,800
補正及び流用	270	
予算合計	1,191	1,800
決算額		
国庫補助金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	1,191	
支出合計	1,191	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
平成24年度から実施。現在道路の環境及びその機能を維持するために、市と地域が連携を図り草払い等を実施しているが、高齢化等により実施できない道路が増える現状であるため。	
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
指定した路線以外の実施についての問い合わせ	霧島市議会の一般質問の中で、環境美化のための道路草払いを自治会等に作業をさせることはできないか。また、中山間地域での草払いが困難となっているがその対策を検討して欲しいとの要望が寄せられている。

事務事業コード	761171	事務事業名	道路アダプト制度事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	171		171	320		320	320		320
消耗品費	171		171	320		320	320		320
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金	1,020		1,020	1,480		1,480	1,480		1,480
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,191		1,191	1,800		1,800	1,800		1,800

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,191		1,191	1,800		1,800	1,800		1,800
計	1,191		1,191	1,800		1,800	1,800		1,800

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成24年度	当初予算	921千円		
	補正及び流用	270千円		
	第1回		第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		流用(9月)	270
予算合計	1,191千円			

平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	761171	事務事業名	道路アダプト制度事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路アダプト制度を制定し、市民・事業者・行政が、一体となり、市内の主要幹線道路の環境及び維持向上を図ることで、通行車両や利用者が安全・快適に移動できる。よって「快適で魅力あるまちづくり」の政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路維持向上に取り組む市民及び市民団体の支援を行うため、必要な施策(霧島市アダプト制度)である。また、道路の維持を図ることは、道路管理者の責務でもある。今後は、高齢化に伴いボランティアによる草刈り等ができなくなる地域が増える事が予想されることから、草刈り等を市民・事業者・行政が一体となって進めていくことが必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	道路アダプト制度を制定し、道路維持向上に取り組む市民団体及び事業者団体を増やし、主要幹線道路の維持向上を図ることが目標であるため対象・意図を設定した。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	道路アダプト制度を制定し、普及を図ることにより、成果指標の現状値が向上できると判断した。成果指標に基づく目標設定の根拠は、本市に適したアダプト制度が、市民・事業者・行政が一体となり取り組みが普及するのに5年程度かかるものと考えた。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	道路の通行に支障をきたしたり、美観景観が損なわれる道路が増える。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	使用機材の燃料費等の活動に不可欠な最低限の費用である。事業費については、道路保全(草刈り)区間に応じて、1団体につき30,000円~50,000円を限度に活動支援金を交付する。最低400mを年2回以上の草刈りをしてもらうことになる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員の人件費については、補助金交付に係る事務で削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の恩恵は広く市民が受けるものであり、公共施設である道路の環境及び機能維持活動であり、受益者負担を求める必要はない。したがって事業の内容は受益と負担の公平性が考慮されている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は、施策体系に沿って適切に実施されている。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果 本市のアダプト制度の普及に向けて、活動団体を増やし、活動範囲を広げる。	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容 本市のアダプト制度の普及に向けて、活動団体を増やし、活動範囲を広げる。

事務事業コード	761171	事務事業名	道路アダプト制度事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

#### 4. 2次評価

##### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合

<b>① 記述水準</b> (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足で分かりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 十分に記述されている	<b>② 評価の客観性水準</b> (2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている <small>(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</small> <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている
--	--

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <small>(十分に成果が出ている)</small> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <small>(十分に成果が出ている)</small> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

##### (3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	幹線道路である指定区間内の道路については、概ね自治会と企業により対応が図られている。今後、指定道路の見直しと地域に周知を図り、団体増と延長の増を図ることができる。
C 効率性	
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

##### (5) 具体的な改善計画 \* (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成26年度に取り組むべき具体的な内容 本市のアダプト制度の普及に向けて、活動団体を増やし、活動範囲を広げる。	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容 指定区間の見直しの検討が必要。
---	--

事務事業コード	761111	事務事業名	道路維持改良事業	担当部	建設部	
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		担当課	建設施設管理課	
施策名	2	交通体系の充実		グループ	道路維持グループ	
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		電話番号	45-5111	
				内線番号	2761	
予算科目	会計	一般会計				
	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	1 道路橋梁維持費
				コード	761111	

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
市民 市道	狭小道路の改修や破損の激しい舗装や側溝などの補修を行い、移動をしやすくする。	安全・快適に移動ができる。

番号	路線名等	平成24年度		平成25年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	宮下2号橋	継続	工事L=14.04m			H 24	
		霧島	13,038				
2	市道高江山之口線	継続	工事L=34m			H 24	
		隼人	4,006				
3	市道高江山之口線	継続	工事L=34.4m			H 24	
		隼人	2,557				
4	清水7号線	継続	工事L=140m			H 24	
		国分	4,725				
5	上之段地区	継続	用地	継続	工事L=50m	H 25	繰越
		国分	2,496	国分			
6	上小川線他	新規	委託			H 25	
		国分	630				
7	民部塚橋他9橋	新規	委託			H 24	
		国分	15,241				
8	落水田～万膳線	新規	工事L=304m			H 24	
		牧園	3,220				
9	市道隅切り(福島)	新規	委託(隅切り)			H 24	
		国分	69				
10	広瀬～野口線	新規	委託			H 24	
		国分	431				

<地区別>

継続 = 13 新規 = 28 継続 = 11 新規 = 12

		H 24	H 25	<全体事業費>	平成24年度決算(A)	平成25年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国分	13	7	事業費	405,885	104,840	▲ 301,045	
溝辺	2	1	事務費	0	0	0	
横川	2	3	合計	405,885	104,840	▲ 29 路線 ▲ 301,045	
牧園	4	2	<財源内訳>				
霧島	5	4					
隼人	11	3	国庫補助金	169,851	13,500	▲ 156,351	
福山	4	3	県支出金			0	
合計	41	23	地方債			0	
			その他	15,241	0	▲ 15,241	
			一般財源	220,793	91,340	▲ 129,453	
			合計	405,885	104,840	▲ 301,045	

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 自治会や市民から狭小道路の改修、舗装の補修、側溝等の改修などの要望がある。	② この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
--	--------------------------------

番号	路線名等	平成24年度		平成25年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
11	下井22号線	新規	測量設計				
		国分	357				
12	大野原2号線外1路線	新規	測量設計				
		国分	347				
13	萩の元1号線	新規	測量設計				
		国分	473				
14	三日月通り線	新規	測量設計				
		国分	483				
15	参宮線	継続	工事L=100m			H 24	
		隼人	7,875				
16	野久美田清水線	継続	工事L=55m 用地			H 24	
		隼人	6,960				
17	木之房内山田線	継続	設計委託・工事L=350m			H 27	
		隼人	17,903				
18	神宮～内山田線	新規	測量設計				
		隼人	473				
19	住吉西線	新規	測量設計				
		隼人	420				
20	新川東西線	新規	測量設計				
		隼人	273				
21	小浜～海岸線	新規	測量設計				
		隼人	368				
22	高速側道山神線	継続	設計委託・工事L=220m				
		溝辺	9,660				
23	今村黒葛原線	継続	設計委託・用地・工事L=80m				
		横川	6,779				
24	牧園～霧島線	新規	工事L=100m				
		牧園	3,700				
25	牧園～霧島線	新規	工事L=145m				
		牧園	5,700				
26	松瀬～前田(059)	継続	用地・工事L=60m				
		霧島	7,174				
27	東湯ノ口線	新規	測量設計				
		霧島	189				
28	木原～年之神線	新規	測量設計				
		霧島	945				
29	池之谷国師1号線	継続	設計委託・用地・工事・補償L=30m				
		福山	3,265				
30	大塚前地区	継続					
		福山	1,360				
31	砂走地区	新規	測量設計				
		福山	488				
32							
33							
34							
35							

番号	路線名等	平成24年度		平成25年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
36	上小川8号線			新規	L=130m 落蓋側溝 400 L=90m 自由勾配側溝 400 L =40m	H 25	
				国分	5,800		
37	三日月通り線			新規	L=200m 落蓋側溝 300 L=200m 舗装工 A=600㎡	H 27	
				国分	6,500		
38	国分～銅田線			新規	舗装工 L=80m W=8.0m A=640㎡	H 25	
				国分	3,500		
39	市道広瀬25号線			新規	測量設計業務委託 L=220m W=4.0m	H 25	
				国分	1,000		
40	河内～松ヶ野線			新規	舗装(オーバーレイ) L=430m W=3.6m	H 27	
				国分	3,000		
41	市道隅切り			新規	隅切り 2箇所	H 25	
				国分	1,300		
42	木之房～内山田線			継続	L=310m 再生路盤工 A=2,100㎡	H 26	
				隼人	20,000		
43	高畑中須線			継続	道路拡幅 L=50m W=4.0m 400型落蓋側溝 100m	H 27	
				隼人	3,600		
44	新川東西線			継続	L=90m 変側溝400型:L=80m 横断暗渠600型L=10m	H 27	
				隼人	3,500		
45	馬立北原線			新規	L=100m 自由勾配側溝600・落 蓋側溝600L=100.0m	H 27	
				溝辺	11,000		
46	今村黒葛原線			継続	L=71m w=8.0 局部改良 舗装工、防護柵	H 25	
				横川	7,000		
47	向植村線			新規	L=200m w=4.0局部改良 (100+70+30)設計委託	H 25	
				横川	3,000		
48	海老ヶ迫～岩穴線			新規	待避所1ヶ所 20m×2.5m	H 27	
				横川	2,000		
49	牧園～霧島線			継続	L=134m、400×600型自由勾 配側溝L=134m	H 27	
				牧園	7,500		
50	牧場～龍石線			新規	測量設計L=100m	H 25	
				牧園	3,300		
51	松瀬～前田線			継続	拡幅工事L=72.17m W=4.5m 重力式擁壁工 L=67m	H 25	
				霧島	5,500		
52	橋口4号線			継続	用地費 138㎡	H 25	
				霧島	40		
53	狩川～鍋窪線			新規	L=50m. W=3.0m 調査測量設計業務委託	H 25	
				霧島	1,600		
54	泉水～市後柄線			新規	L=100m 落蓋側溝400×400 L=100m 舗装工 A=100㎡	H 25	
				霧島	3,500		
55	土地改良区19号線			継続	L=54m 自由勾配側溝(700×1 000) L=54m	H 25	
				福山	5,200		
56	牧之原十字線			継続	L=90m(現場打ち側溝工)	H 25	
				福山	2,500		
57	砂走地区			継続	用地買収 A=400㎡ 改良工事 L=70m	H 25	
				福山	4,500		
58							
59							
60							



番号	路線名等	平成24年度		平成25年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
61	(1)郡田線	新規	L=1,000m. W=5.0m 再生路盤舗装工A=5,000㎡			H 25	
		国分	53,000				
62	(1)集中東～真孝線	新規	L=350m. W=7.0m 再生路盤舗装工A=2,450㎡			H 25	
		隼人	27,000				
63	(1)十三塚原線	新規	L=1,100m. W=5.0m 再生路盤舗装工A=5,500㎡			H 25	
		溝辺	73,000				
64	(2)鍋ヶ迫～崎山線	新規	L=260m. W=6.2m 再生路盤舗装工A=1,612㎡			H 25	
		横川	17,000				
65	(1)牧場～横瀬線	新規	L=800m. W=6.5m 再生路盤舗装工A=5,200㎡			H 25	
		牧園	55,780				
66	(その他)中原～法ヶ崎線	新規	L=450m. W=4.5m 再生路盤舗装工A=2,025㎡			H 25	
		霧島	22,000				
67	(1)東牧之原線	新規	L=300m. W=6.0m 舗装工A=1,800㎡			H 25	
		福山	21,000				
68	効果促進事業	新規	路面性状調査			H 25	
		国分	1,000				
69	小野浜トンネル外5箇所	新規	トンネル点検 N=6箇所			H 25	
		隼人	11,000				
70	市道旭通線外路線	新規	道路付属物点検 N=50箇所			H 25	
		国分	3,500				
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							

事務事業 コード	761111	事務 事業名	道路維持改良事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の改修や補修を行うことで、市民が安全・快適に移動ができることにつながる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の改修・補修は、管理者である市の事務であるので市が行うことが妥当である。
B 有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市道の改修・補修を廃止・休止することで、市民の安全・快適な通行が図れなくなる。
C 効率性評価	④ 事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	改修や補修の工法は、コスト削減を考慮して決定することから削減余地はない。
	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	高度な測量設計は委託業務を行い、業務遂行を正規職員で行っているため削減余地はない。
D 公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道は、不特定の市民が利用することから受益者は特定できない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の舗装や側溝等の改修を実施し、市民の安全な通行を図れた。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	生活道路・排水施設の改修など、まちづくり計画等により市民からの要望が寄せられ、最近はさらに増加の傾向にあるため、緊急性など優先順位を定め公正、公平かつ計画的に事業推進を図る必要がある。

事務事業コード	761112	事務事業名	道路維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路維持グループ
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2761
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	8	土木費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度~)
	項	2	道路橋梁費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	1	道路橋梁維持費	根拠法令・条例等	道路法
	コード	761112			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績				
霧島市全域の市道の維持管理のため、清掃や修繕・改修を行う事業。 主な業務内容は次のとおり。 ①市道の陥没や側溝閉塞、雑草等により見通しの悪い箇所などを通常巡回や、利用者からの通報により把握 ②現場状況確認 ③実施要否判断 ④関係機関と協議 ⑤修繕や改修工事・委託の発注 ⑥工事委託終了後の検査 ※日常的に住民が使用する生活道路については、清掃等を周辺地域の自治会に協働で行ってもっている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕工事</li> <li>・草払い委託</li> <li>・街路樹管理委託</li> </ul>				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	道路補修・側溝修繕箇所数	箇所	486	607	650	650	
イ	草払い延長	Km	770	771	800	800	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	市道利用者及び周辺住民	市内人口	人	127,365	127,475	128,362	128,861
イ	霧島市内の市道	市内の市道延長	Km	1,580	1,606	1,616	1,626
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	住民の安全を図る。市道が良好な状態に保たれる。	対応率(修繕・改修箇所数/修繕・改修が必要と判断された箇所数)	%	78	82	86	86
イ	〃	市道利用者、周辺住民からの苦情件数	件	1,289	1,389	1,489	1,589
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	安全・快適に移動ができる。	改良率	%	56.30		***	***
イ	〃	渋滞箇所数	箇所	9	9	***	***

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
当初予算額	232,981	238,886
補正及び流用	3,498	
予算合計	236,479	238,886
国庫補助金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	236,237	
支出合計	236,237	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
昭和27年の道路法の改定により、市道の整備並びに維持管理が市町村の義務となった。	市道の老朽化と交通量の増加による舗装の劣化や、側溝等の不具合が多く発生している。また、高齢化社会により、地域住民で行っていた草払いができない地域が増えており、それに伴い市で対応してほしいとの要望も年々増加してきている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
市道の維持修繕は道路利用者だけでなく、地域住民にも多大な影響があるために、早急な対応が求められている。 住民からの苦情や要望の内容としては、「草払い」「側溝改修」「道路舗装の補修」が多い。	平成21年度9月議会で、「中山間地域では高齢化が進み自治会で草払いなどの管理が困難になっているが、今後どのように考えるか」の質問がなされた。

事務事業 コード	761112	事務 事業名	道路維持管理事業			担当部	建設部
						担当課	建設施設管理課

単位:千円		平成24年度 (決算)			平成25年度 (当初予算)			平成26年度 (見込)		
		単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬									
2	給料									
3	職員手当等									
4	共済費									
7	賃金	7,099		7,099	7,197		7,197	7,500		7,500
8	報償費									
9	旅費									
10	交際費									
11	需用費	137,043		137,043	136,494		136,494	136,494		136,494
	消耗品費	2,290		2,290	2,450		2,450	2,450		2,450
	燃料費	44		44	44		44	44		44
	食料費									
	印刷製本費									
	光熱水費									
	修繕料	134,709		134,709	134,000		134,000	134,000		134,000
12	役員費									
	通信運搬費									
	広告料									
	手数料									
	保険料									
13	委託料	82,658		82,658	84,700		84,700	85,000		85,000
14	使用料及び賃借料	2,500		2,500	2,495		2,495	2,500		2,500
15	工事請負費									
16	原材料費	6,937		6,937	8,000		8,000	8,000		8,000
17	公有財産購入費									
18	備品購入費									
19	負担金補助・交付金									
20	扶助費									
21	貸付金									
22	補償補填及び賠償金									
23	償還金利子・割引料									
24	投資及び出資金									
25	積立金									
26	寄附金									
27	公課費									
28	繰出金									
計		236,237		236,237	238,886		238,886	239,494		239,494

財源内訳	国									
	県									
	地方債									
	辺地債									
	過疎債									
	合併特例債									
	その他									
一般財源	236,237		236,237	238,886		238,886	239,494		239,494	
計	236,237		236,237	238,886		238,886	239,494		239,494	

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 24 年度	当初予算	232,981千円			平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳
	補正及び流用	3,498千円			
	第1回		第5回		
	第2回		第6回		
	第3回		第7回		
	第4回		流用(3月)	3,498	
予算合計	236,479千円			参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	761112	事務事業名	道路維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の修繕や草払いを行うことで、道路の利用者が安全・快適に移動ができる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の維持管理は道路法に基づき管理者である市の責務であり、市道の安全を確保するという点から妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市道を安全に通行できるようにするための事業であり、対象・意図ともに適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	道路の劣化により年々修繕の箇所が増え、高齢化により市道の草払いの要望も増えている。また、修繕料や草払い委託料の経費の確保も難しく、現状としては、修繕による改善や草払いの作業延長を伸ばすことは難しい状況である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民の最も身近な生活道路である市道の維持管理を廃止・休止することは、円滑な車輛通行の妨げとなり、事故の誘発を招く。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	市道の劣化が進む中、道路の補修や、高齢化による草払いの要望が年々増加している。このような状況では、事業費の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在は、草払いや修繕については、委託や請負により、市道の維持管理を継続的に行っている。職員は、住民からの苦情・要望処理や現場での状況判断、また、専門的知識を要する工法検討など対応する業務が多く、人件費を削減する余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	住民からの苦情・要望は地域によって偏りはあるが、市が行うパトロールなども含めて要否を判断しているため、公平性は保たれている。道路管理は、受益者負担を求める事業には該当しない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道等の修繕、草刈り等を実施し、市民の安全な通行を図ることできた。	

### 3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

#### (3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
道路施設の劣化の進行や高齢化による路傍草払いが実施困難になる地域の増加などにより、道路維持管理の費用が増える傾向にある。優先順位を考慮し、道路の草払い、舗装の補修、水路の補修、街路樹の適正な管理等、市民の安全な通行を図る。	平成25年度に引き続き継続する。